

第9回まち交大賞 受賞地区一覧

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞)	留辺蘂町温根 湯温泉地区	北海道 北見市	観光客がゆったりと温泉街で癒され、くつろげるような景観の整備と豊かな森林をはじめとした自然の観光資源と共生するような農村公園の緑化整備を行うことで、来る人、住む人が自然とふれあい、心温まる湯の里の実現を図る。
まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流 協議会会長賞)	和倉温泉地区	石川県 七尾市	地域住民、商店街、旅館が主体となって、住む人・訪れる人が楽しく行き交い、にぎわいある温泉街の再生に取り組み、街並みや景観の向上を図るため景観協定が生まれ、50年後100年後を見据えたまちづくりが実現。
創意工夫大賞 (都市みらい推進 機構理事長賞)	和合地区	山形県 朝日町	地域の衰退が進む中で、小学校の閉校が転機となり、自分たちの地域を何とかしたいという思いから、地域住民が主体となったまちづくり活動が始動。「和合地域づくり計画」の実現のため、地域と行政が一体となったし取り組みを実施。
まちづくり効果賞	柿田川周辺 東南部地区	静岡県 清水町	柿田川公園などの豊かな自然環境の保全と活用の機運の高まりのなか、堅実且つ費用対効果の高い事業を中心に、盛りだくさんの整備で、想定外の相乗効果や波及効果が生まれ、指標の目標値を大幅に超える達成度を実現。
	武生中心市街 地地区	福井県 越前市	約 1300 年近くも越前地方の中心市街地として栄えた歴史のあるまちで、地域固有の歴史や文化と人々の生活が密接に結びついた、賑わいと魅力のある「まちの顔」の形成を住民等との協働により実施。
	緑ヶ浜周辺 地区	福岡県 新宮町	まちの顔となる中心市街地をつくるにあたり、浄化センターの迷惑施設イメージを払拭させて「環境共生の核」とし、さらにJR新駅を誘致、整備することによって歩いて暮らせる「コンパクトシティの核」と位置づけた。
まちづくりシナリオ賞	下川市街地区	北海道 下川町	森林共生低炭素社会の構築を基盤とし、森林総合産業の創造を目標に、市街地中心部に低炭素まちづくり計画区域を定め、コンパクトなまちづくりを推進し、環境に係る取組と連携・連動した「まちの顔づくり・にぎわいづくり」を目指す。
	とおかまち地 区<第2期>	新潟県 十日町市	震災の影響や経済状況の低迷により廃業した工場や商業施設の跡地を活用し、公益施設や居住施設のまちなかへの集積を行う。跡地活用にあたっては、民間事業者を対象とした事業公募を行い民間の資本投資を促進する。
	棚尾地区	愛知県 碧南市	子どもからお年寄りまで、みんなが安心して生き生きと暮らせるまちを目指して、『災害に強く、多世代が安心・安全・快適に暮らせる生活の土台づくり』、『豊かな環境づくり』、『棚尾に訪れたいくなるまちの彩りづくり』を推進する。